

令和3年度 予算施策評価表

様式1

施策名	広域観光・国際観光の推進				予算施策コード	sb10
担当部局名	観光スポーツ文化部 観光交流局	観光国際課	評価責任者	課長 河上 芳一	連絡先	3852

1 施策の内容

施策の目標	県内外からの観光客誘致を拡大することにより、県内経済の活性化を図る。
これまでの取組み	<ul style="list-style-type: none"> ○四国ツーリズム創造機構等を通じた歴史・文化・自然等のテーマに沿った魅力ある広域観光ルートの形成 ○えひめいやしの南予博2014など地域の特性を活かした観光イベントの実施による観光客誘致と観光まちづくりの推進 ○「えひめフィルム・コミッション」を窓口としたロケ等の誘致・支援による本県のイメージアップと観光客誘致 ○国際観光テーマ地区への外客来訪の促進と松山空港国際線を活用した国際観光の振興 ○観光客が求めている本県資源の効果的な情報発信

成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	観光客数(県内観光客数+県外観光客数)	B	観光消費額							
選択理由	観光客数の推移により県内外における交流の傾向が推定される。	選択理由	観光による地域活性化への寄与度が推定される。							
算定方法	市町を通じて調査集計	算定方法	市町を通じて調査集計							
成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	+	成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(プラス/マイナス)	+

指標・事業費・人件費の推移

区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費(決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	千人			億円			千円					
元年度	29,000	26,641	91.9%	1,200	1,174	97.8%	777,972	265,134	6,643	506,195		272,253
2年度	29,000	17,183	59.3%	1,200	877	73.1%	1,840,946	1,561,959	3,798	275,189	1,681,701	230,732
3年度	29,000	16,353	56.4%	1,200	839	69.9%	6,576,994	6,309,028	1,200	266,766	942,003	146,410
4年度 目標値	29,000			1,200			564,537	174,484	87,047	303,006		
最終目標												

4年度当初予算

2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	<p>観光産業は裾野の広い産業であり、その振興を図ることにより、多様な産業や文化、芸術など幅広い分野にわたる振興が可能である。また、交流人口の増加は、経済の活性化を促し、地域の振興を図ることができる。市町村合併や高速交通網の進展に対応した魅力ある観光を提供するためにも、県内あるいは県境を超えた広域観光への対応が求められる。</p> <p>また、国際観光の推進により身近に外国人と接する機会が増大することから、国際感覚の涵養が期待できる。さらに、県経済成長戦略2010における4つの重点戦略分野の一つに「観光ビジネス」を位置づけるとともに、県版まち・ひと・しごと創生総合戦略においても、基本目標を達成する施策項目に位置付けられており、県の関与の必要性は高い。</p>				
高い							
成果指標A		説明	<p>平成21年は、高速道路料金値下げやしまなみ海道10周年記念事業の実施、「坂の上の雲」等のドラマ効果により前年比2.5%の増加となり、22年も、高速道路料金値下げ効果や、「坂の上の雲」等のドラマ効果により県外観光客が大幅に増加し、前年比2.2%増となった。しかしながら、23年は、東日本大震災の影響や高速道路料金の特別上限割引及び無料化実験の終了等により、前年比3.0%の減少となった。24年は宇和島圏域での「えひめ南予いやし博2012」開催による集客増等により、前年比3.0%の増加となった。25年は、「サイクリングしまなみ2013」の開催やLCC就航等により、前年比0.2%の増加となった。26年は、「瀬戸内しまのわ2014」や「道後オンセナート2014」の開催、四国霊場開創1200年に合わせた取り組み等により、前年比4.7%の増加となった。27年は、四国遍路の日本遺産認定や国の広域観光周遊ルート認定、「道後アート2015」・「宇和島伊達400年祭」の開催、「伊予灘ものがたり」の影響等により前年比2.3%の増加となった。28年は「えひめいやしの南予博2016」や「サイクリングしまなみ2016」等の大規模イベントの開催により、前年比1.4%の増加となったものの、29年はその反動により減少となった。30年は豪雨災害による直接的被害及び風評被害により観光客数は減少したが、「ふっこう周遊割」効果及びインバウンドの増加により観光客消費額は増加した。令和元年は東予東部圏域振興イベント「えひめさんさん物語」の開催やゴールデンウィークの大型連休(10連休)などにより、観光客数は増加となった。令和2年は新型コロナウイルス感染症の影響により、年間の観光客総数が前年比35.5%減の1,718万人に落ち込むなど、観光産業が大きな打撃を受けた。</p> <p>【観光統計の公表：毎年6月】 本県観光を取り巻く環境変化等を踏まえ、「愛媛県観光振興基本計画」において、概ね5年ごとに観光客数の数値目標を設定することとしているため、最終目標の設定は困難である。</p>				
成果動向	順調でない						
成果向上余地	成果向上が可能						
成果指標B		説明	<p>21年、22年と観光客数の増加に伴い、観光消費額も順調に増加した。23年は観光客数が減少したため、観光消費額も減少した。24年は観光客数は増加したものの、観光消費額は前年と同額となった。25～28年は観光客数、観光消費額ともに増加した。平成29～令和元年は観光消費額が増加した。令和2年は観光客数、観光消費額ともに減少した。</p> <p>【観光統計の公表：毎年6月】 本県観光を取り巻く環境変化等を踏まえ、「愛媛県観光振興基本計画」において、概ね5年ごとに観光消費額の数値目標を設定することとしているため、最終目標の設定は困難である。</p>				
成果動向	順調でない						
成果向上余地	成果向上が可能						
参考：構成事務事業の評価の平均値	成果動向	1.96	横這い	成果向上余地	1.96	成果向上が可能	

今後予測される環境変化	令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大による落ち込みを回復させるための取り組みを行ったところであるが、令和4年度についても引き続き、コロナ禍で減少した観光需要の回復に努める。
-------------	---

3 施策の今後の方向性

平成27年度に策定した「愛媛県観光振興基本計画」に基づいて、スクラップアンドビルドに心がけながら、観光客の増加につながる施策を積極的に取り組んでいく。

4-1 事務事業管理シート（評価対象事業）

予算施策名

sb10

広域観光・国際観光の推進

1 松山空港利用促進事業費（国際線利用促進関係）							指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり
指標種類1	指標名称1		単位	計画	60	60	運航再開	運航再開					事業費計	10,953	513	1,454	1,454	評価	新型コロナウイルス感染症の影響で松山空港国際線は令和2年3月から運休しており、運航再開は今後の国による入国規制の行方次第であるが、早期の運航再開に向け、各航空会社と定期的に意見交換を実施し、関係維持を図っている。		
成果	+	70-	松山空港国際線（上海線）搭乗率	%	実績	58	運休	運休				国費	3,311	79	67						
					達成率	96.67%	-	-				その他									
指標種類2	指標名称2		単位	計画	80	80	運航再開	運航再開				事業費計	10,953	513	1,454	1,454					
活動	+	70-	松山空港国際線（ソウル線）搭乗率	人	実績	75	運休	運休				国費	3,286	52			見直し 方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3			
					達成率	93.75%	-	-				その他									
指標種類3	指標名称3		単位	計画			20	12				事業費計	10,953	513	1,454	1,454					
活動	+	70-	航空会社（上海線、ソウル線）との意見交換回数	件	実績			20				国費	3,286	52							
					達成率	-	-	100.00%				その他									
実施期間	始期	終期	事業の概要										人役	0.5	0.5	0.5					
	H3		松山空港国際線の早期の運航再開と再開後の安定運航に向け、松山空港利用促進協議会を通じて官民一体となった取組みを展開する。										人件費	3,403	3,383	3,025					
2 四国観光連携事業費							指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余地が小 さい
指標種類1	指標名称1		単位	計画	29000	29000	29000	29000					事業費計	39,000	40,101	40,061	39,088	評価	四国ツーリズム創造機構を通じた本県の観光PRを展開できており、更なる誘客促進に繋げるよう連携強化を図ってきたい。また、令和3年度は四国デスティネーションキャンペーンを実施するなど、本県観光の魅力をもっとPRすることができた。		
成果	+	70-	観光客数	千人	実績	26641	17183	16353				国費									
					達成率	91.87%	59.25%	56.39%				その他									
指標種類2	指標名称2		単位	計画	1200	1200	1200	1200				事業費計	39,000	40,101	40,061	39,088					
成果	+	70-	観光客消費額	億円	実績	1174	877	839				国費	39,000	39,608	39,746		見直し 方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3			
					達成率	97.83%	73.08%	69.92%				その他									
指標種類3	指標名称3		単位	計画	191400	191650	190750	191100				事業費計	39,000	39,608	39,746	39,746					
活動	0	70-	四国ツーリズム創造機構の事業費の推移（各県及びJR四国等の負担金額）	千円	実績	191500	191450	191000				国費	39,000	39,608	39,746						
					達成率	-	-	-				その他									
実施期間	始期	終期	事業の概要										人役	0.4	0.4	0.4					
	S63		四国の認知度向上や国内外からの観光誘客、魅力ある観光地づくりなど官民一体となって効果的かつ円滑に実施し、四国の観光産業の振興、国際化に寄与する。										人件費	2,723	2,707	2,420					
3 伊予観光大使制度運営事業費							指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	1成果向上余地が小 さい
指標種類1	指標名称1		単位	計画	6	6	6	6					事業費計	728	740	745	745	評価	各大使には、それぞれのスタイル、活躍の場で、本県の観光・物産等の情報発信に取り組んで頂いている。22歳以下の若者枠も設けて大使に委嘱し、若年層に向けた情報発信力を強化するなど、本県への誘客につながる取り組みを進めている。		
成果	+	70-	観光情報の提供回数（27年度から変更）	千人	実績	6	4	5				国費									
					達成率	100.00%	66.67%	83.33%				その他									
指標種類2	指標名称2		単位	計画	73	77	85	86				事業費計	728	740	745	745					
活動	+	スタツ	伊予観光大使の数	人	実績	75	83	84				国費	478	219	42		見直し 方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3			
					達成率	102.74%	107.79%	98.82%				その他									
指標種類3	指標名称3		単位	計画								事業費計	478	219	42	42					
					実績							国費	478	219	42						
					達成率	-	-	-				その他									
実施期間	始期	終期	事業の概要										人役	0.2	0.2	0.2					
	H13		愛媛にゆかりのある方々に、自らの活躍の場を通して本県に関する観光・イベント情報を発信して頂き、本県の観光イメージの向上を図るとともに、本県の観光や物産に関する意見・提言を頂き、これからの観光行政の参考とする。										人件費	1,362	1,354	1,210					

4 えひめロケーション誘致推進事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	向上余地	2一定の成果向上余地あり	
指標種類1	指標名称1	単位	計画	20	20	20	20	事業費計 国費 その他 県費 事業費計 国費 その他 県費 人役 人件費	2,738	2,712	2,708	2,734	4成果順調である 2一定の成果向上余地あり ロケ誘致に係る許認可窓口の紹介や、市町・警察等の行政機関との調整、県内広域での活動支援を実施するためには、県が主体となって行うことが妥当である。また、ロケ誘致実績件数が計画を上回っており、成果順調であると言える。	方向1 方向2 方向3	このまま継続	
成果 +	70-	ロケ誘致実績件数	件	実績	24	27	24		国費							
				達成率	120.00%	135.00%	120.00%		その他							
指標種類2	指標名称2	単位	計画	70	70	70	70		2,738	2,712	2,708	2,734				
活動 +	70-	ロケ地情報問い合わせの対応	部	実績	72	60	28		事業費計	2,571	2,120	1,889				
				達成率	102.86%	85.71%	40.00%		国費							
指標種類3	指標名称3	単位	計画						その他							
				実績					県費	2,571	2,120	1,889				
				達成率	-	-	-		人役	0.2	0.2	0.2				
				達成率	-	-	-		人件費	1,362	1,354	1,210				
実施期間	始期 H14	終期	事業の概要					映画・テレビ等のロケ誘致及びその制作を支援する窓口として「えひめフィルム・コミッション」を開設し、各種誘致・支援事業を行うことで、映像関係者等専門家の目を通した新しい愛媛を掘り出し、想像し、新たな観光資源化等による新しい愛媛の魅力創造を図る。								

5 観光ブランド発信・誘客促進事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	向上余地	2一定の成果向上余地あり	
指標種類1	指標名称1	単位	計画	29000	29000	29000	-	事業費計 国費 その他 県費 事業費計 国費 その他 県費 人役 人件費	7,246	16,516	11,714	0	3成果横ばい 2一定の成果向上余地あり 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、デジタルを中心とした観光プロモーションを展開してきたが、リアルの観光イベントについては中止となりプロモーション数が減少した。	方向1 方向2 方向3	統合	
成果 +	70-	観光客数	千人	実績	26641	17183	16353		国費	3,238	7,439	4,962				
				達成率	91.87%	59.25%	56.39%		その他							
指標種類2	指標名称2	単位	計画	10	10	10	10		4,008	9,077	6,752					
活動 +	70-	プロモーション事業数	件	実績	10	6	6		事業費計	6,353	4,290	8,438				
				達成率	100.00%	60.00%	60.00%		国費	2,460	2,145					
指標種類3	指標名称3	単位	計画						その他							
				実績					県費	3,893	2,145	8,438				
				達成率	-	-	-		人役	0.3	0.3	0.3				
				達成率	-	-	-		人件費	2,042	2,030	1,815				
実施期間	始期 H23	終期 R3	事業の概要					観光分野における地域間競争が激化する中で、本県の豊かな観光資源を素材にインパクトのある観光プロモーションを展開することにより、愛媛観光のブランド化と大都市圏での知名度向上を図るとともに、観光客層に応じた効果的な誘客を促進する。								

6 愛媛県コンベンション誘致事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	向上余地	2一定の成果向上余地あり	
指標種類1	指標名称1	単位	計画	140000	140000	140000	140000	事業費計 国費 その他 県費 事業費計 国費 その他 県費 人役 人件費	6,928	8,402	4,204	6,000	2成果低迷している 2一定の成果向上余地あり R3年度については、新型コロナの影響により実績が低迷しているが、今後のアフターコロナを見据えて、引き続き、コンベンションの誘致に取り組んでいく必要がある。	方向1 方向2 方向3	このまま継続	
成果 +	70-	コンベンション客数 (県内の団体を除く)	件	実績	14625	0	3624		国費	3,464	4,201	2,102				
				達成率	10.45%	0.00%	2.59%		その他							
指標種類2	指標名称2	単位	計画	40	40	40	40		3,464	4,201	2,102	6,000				
活動 +	70-	コンベンション誘致のための団体訪問数	件	実績	20	1	6		事業費計	3,644	39,824	1,064				
				達成率	50.00%	2.50%	15.00%		国費	1,822	19,912					
指標種類3	指標名称3	単位	計画						その他							
				実績					県費	1,822	19,912	1,064				
				達成率	-	-	-		人役	0.2	0.2	0.2				
				達成率	-	-	-		人件費	1,362	1,354	1,210				
実施期間	始期 H23	終期 R4	事業の概要					県内で開催されるコンベンションの誘致を促進することにより、経済効果をもたらすとともに本県のイメージアップや地域の活性化に寄与する。令和3年度はコロナにより誘致が十分にできなかった。								

7 観光集客力向上支援事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	向上余地	2一定の成果向上余地あり	
指標種類1	指標名称1	単位	計画	6,280,087	2,616,742	1,410,042	1265458	事業費計 国費 その他 県費 事業費計 国費 その他 県費 人役 人件費	20,103	20,103	20,103	20,103	3成果横ばい 2一定の成果向上余地あり コロナ禍で打撃を受けた観光需要を回復するために、地域資源をブラッシュアップすることで観光集客力を高めることは重要であり、事業は継続実施すべきである。	方向1 方向2 方向3	このまま継続	
成果 +	70-	事業による観光集客数	人	実績	2378857	1281857	1150416		国費							
				達成率	37.88%	48.99%	81.59%		その他							
指標種類2	指標名称2	単位	計画	4	4	4	4		20,103	20,103	20,103	20,103				
活動 +	70-	補助件数	件	実績	5	4	5		事業費計	20,000	15,035	20,000				
				達成率	125.00%	100.00%	125.00%		国費							
指標種類3	指標名称3	単位	計画						その他							
				実績					県費	20,000	15,035	20,000				
				達成率	-	-	-		人役	0.4	0.4	0.4				
				達成率	-	-	-		人件費	2,723	2,707	2,420				
実施期間	始期 H23	終期 R3	事業の概要					観光関係団体や民間事業者自らが行う地域資源を活用した持続的な観光客の増加に寄与する新たな取り組みに対して補助する。								

12 歴史文化継承ひと・まちづくり事業費（東予）		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標（R?）	コスト（単位：千円）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり		
指標種類1	指標名称1	単位	計画	17	3	16		コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価 地域: 歴史文化資源を題材に、デジタルポスターにより地域に対する住民の誇り(シビックプライド)を見える化し、その醸成・発信に繋げることができた。また、SNSでの情報発信に加えて、新たにデジタルポスターや協議会の活動を紹介するホームページを開設することで、発信力の強化に繋がった。	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上 余地あり		
活動 +	史跡	歴史文化継承ひと・まちづくり事業の実施回数	実績	20	3	22	事業費計		1,250	1,250	1,250	0					見直し 方向性 方向1 見直し(拡大・縮小・執行方法の改善等) 方向2 有効性改善 方向3 成果向上	
成果 +	史跡	東予みらい人材育成事業の参加者数	実績	29	14	42	国費											高校生を中心とした若年者層に向けて具体的に地域の文化資源や資源を活用した地域づくりを学ぶ機会を提供してきた一方、一般の方や民間企業などへの広がりを欠いた面も、次年度以降は幅広い層を対象として活動を拡大していく。
指標種類2	指標名称2	単位	計画	30	14	30	その他											
成果 +	史跡	東予みらい人材育成事業の参加者数	実績	29	14	42	事業費計		1,250	1,250	1,250							
指標種類3	指標名称3	単位	計画	330	235	350	国費											
成果 +	史跡	歴史文化継承ひと・まちづくり事業の参加者数	実績	405	1100	745	その他											
実施期間	始期 R1	終期 R3	事業の概要					人役	1.0	1.0	1.0							
			デジタル技術を活用して、東予各市町の「シビックプライド」(都市に対する市民の誇り)を見える化し、移住や定住の促進、交流人口の拡大に活用する。					人件費	6,806	6,766	6,050							

13 しまなみ地域観光客等受入体制強化事業費（東予）		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標（R?）	コスト（単位：千円）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり		
指標種類1	指標名称1	単位	計画		60	120	120	コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価 研修会等の開催を通じ、外国人旅行者等に対する事業者の受入対応力・情報発信力の底上げが図られたほか、魅力ある体験型コンテンツの造成やネットワークの構築に繋げることができた。	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上 余地あり		
成果 +	70-	インバウンド受入講座への累計参加人数	実績		67	103	事業費計		0	1,500	1,500	1,500					見直し 方向性 方向1 このまま継続 方向2 方向3	
指標種類2	指標名称2	単位	計画		15	25	20		国費									アフターコロナを見据え、外国人旅行者等の受入体制の更なる充実・強化を図るため、観光事業者等を対象としたインバウンド受入の実践的なセミナーや、自ら継続的に情報発信ができる体制を整備するための講座を開催するなど、継続的な支援が必要。
成果 +	70-	住民グループ活動支援研修会への参加事業者数	実績		22	25	事業費計		0	1,500	1,500							
指標種類3	指標名称3	単位	計画				国費				1,500	1,500						
成果 +	70-	住民グループ活動支援研修会への参加事業者数	実績				その他											
実施期間	始期 R2	終期 R4	事業の概要					人役		0.9	0.9							
			しまなみエリアのインバウンド誘客や滞在型観光を促進するため、市町等と連携し、観光客の受入体制の充実・強化を図る。					人件費		6,090	5,445							

14 えひめさん物産フォローアップ事業費（東予）		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標（R4）	コスト（単位：千円）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり		
指標種類1	指標名称1	単位	計画		1000	1000	1000	コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価 新型コロナウイルスの影響により一部イベントは中止となったものの、開催したイベントでは計画を上回る参加者数となり、観光イベント等への関心の高さを伺えた。特にオンライン工場見学では、全国各地から参加者を集め、またホームページで公開しているYoutube視聴回数も1700回以上となり、高いPR効果が発揮された。	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上 余地あり		
成果 +	70-	イベント来場者数	実績		546	743	事業費計		0	1,500	1,500	1,500					見直し 方向性 方向1 このまま継続 方向2 方向3	
指標種類2	指標名称2	単位	計画		6	6	6		国費									実際に来て見て触れて実感するイベントは重要であるため、来年度は、ウィズコロナを念頭に十分な感染対策を講じて集客型イベントの開催を目指す。一方で、コロナの影響のみならず、時間や距離にも制限されず参加できるオンラインイベント等の併用も検討する。
活動 +	70-	イベント実施回数	実績		3	5	事業費計		0	1,500	1,500							
指標種類3	指標名称3	単位	計画		100	100	100		国費									
活動 +	70-	SNSによる発信回数	実績		67	141	その他				1,500	1,500						
実施期間	始期 R2	終期 R4	事業の概要					人役		0.4	0.4							
			「えひめさん物産」において発見された価値を引き続き圏内外に発信するため、圏域の資産である「ものづくり産業」等を活用した事業を実施する。					人件費		2,707	2,420							

15 大学生等による中予の魅力フォト発信事業費（中予）		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標（R3）	コスト（単位：千円）	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	3大きく成果向上する		
指標種類1	指標名称1	単位	計画		1,500	3,000	-	コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価 2年間で管内6市町全てにおいて大学等と巡る「フォトミーティング」を開催することができ、「フォトコンテスト」を実施した結果、インスタグラムのフォロワー数は1,890人と前年度末から530人増加し、中予地域の新しい魅力の発掘・発信を行うことができた。	4成果順調である	向上 余地	3大きく成果向上 する		
成果 +	史跡	Instagram (@chuyonavi) フォロワー数	実績		1,360	1,890	事業費計		0	1,253	1,058	0					見直し 方向性 方向1 休止・廃止 方向2 方向3	
指標種類2	指標名称2	単位	計画		3	3	国費											事業終期である令和3年度で本事業は終了したが、InstagramなどのSNSを活用して中予地域の新しい魅力の発掘・発信を行う。
活動 +	70-	大学生等Instagramフォトミーティング実施数	実績		3	3	事業費計		0	1,020	789							
指標種類3	指標名称3	単位	計画				国費				1,020	789						
実施期間	始期 R2	終期 R3	事業の概要						人役		1.0	1.0						
			大学等が多数立地し、Instagramの主な利用者層である若年層人口が県内の他地域に比べて多い中予地域において、大学生等の視点を活用して地域の魅力を発掘しInstagramを使って発信する事業に取り組み、若年層の交流・関係人口の増加を図る。					人件費		6,766	6,050							

16 国際観光推進事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	2成果低迷している	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり
指標種類1	指標名称1	単位	計画	243544	297000	60000	100000	事業費計	9,917	10,790	6,180	6,180	評価	コロナ禍により観光を目的とした訪日外国人の受入停止が続く中、成果は低迷しているものの、海外からの訪日観光意欲は依然として高く、インバウンド再開後の成果向上余地が見込まれる。	方向1 方向2 方向3	このまま継続
成果 +	外国人延べ宿泊者数(暦年)	人	実績	216270	57760	35280	国費		3,737	4,610						
			達成率	88.80%	19.45%	58.80%	その他									
指標種類2	指標名称2	単位	計画	150	150	30	20	事業費計	6,180	6,180	6,180	6,180				
活動 +	各種研修会参加人数	人	実績	155	36	28	国費		9,900	9,950	5,340					
			達成率	103.33%	24.00%	93.33%	その他	1,831	3,865							
指標種類3	指標名称3	単位	計画					事業費計	8,069	6,085	5,340					
			実績				国費		0.8	0.8	0.5					
			達成率				人役	5,445	5,413	3,025						
実施期間	始期	終期	事業の概要					人件費								
	H9		海外からの来県者の来訪を促進して、県内観光産業の推進を図る。													

17 中国観光交流促進事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	2成果低迷している	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり
指標種類1	指標名称1	単位	計画	60	60	運航再開	運行再開	事業費計	29,179	0	15,888	0	評価	コロナ禍により国際往来が規制される中、松山-上海線は長期運休が続いているものの、中国のPR会社やSNSを活用したプロモーションの実施により認知度の維持・向上を図るとともに、県民向けのバーチャル旅行体験会の開催等により気運醸成を図っており、国際往来再開後の成果向上が見込まれる。	方向1 方向2 方向3	休止・廃止
成果 0	松山-上海線搭乗率	%	実績	58		運休	運休		国費	13,544		7,944				
			達成率					その他								
指標種類2	指標名称2	単位	計画	-	-	5		事業費計	15,635		7,944					
活動 +	中国アップーミドル向け商品モデルコース造成	本	実績	-	-	7			国費	29,179	0	12,104				
			達成率			140.00%		その他	13,544							
指標種類3	指標名称3	単位	計画	-	-	100		事業費計	15,635		12,104					
活動 +	中国アウトバウンド関連イベント参加人数	人	実績	-	-	120			国費	0.5		0.5				
			達成率			120.00%		人役	3,403		3,025					
実施期間	始期	終期	事業の概要					人件費				見直し 方向性				
	H26	R3	松山空港国際線(上海線)の早期の運航再開と再開後の安定運航に向け、インバウンド・アウトバウンド両面から効果的な対策を実施する。													

18 台湾観光交流促進事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	2成果低迷している	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり
指標種類1	指標名称1	単位	計画	80	80	運航再開	運航再開	事業費計	114,551	20,043	16,846	0	評価	コロナ禍により国際往来が規制される中、松山-台北線は長期運休が続いているものの、台湾のPR会社等を活用したプロモーションの実施により認知度の維持・向上を図るとともに、県民向けのバーチャル旅行体験会の開催等により気運醸成を図っており、国際往来再開後の成果向上が見込まれる。	方向1 方向2 方向3	休止・廃止
成果 +	松山-台北線搭乗率	%	実績	75		運休	運休		国費	49,201	7,924	6,712				
			達成率	93.75%				その他								
指標種類2	指標名称2	単位	計画	-	-	100		事業費計	65,350	12,119	10,134					
活動 +	一般旅行者向け観光セミナー参加者数	人	実績	-	-	112			国費	114,551	20,043	16,846				
			達成率			112.00%		その他	42,507	5,965						
指標種類3	指標名称3	単位	計画	-	-	100		事業費計	72,044	14,078	16,846					
活動 +	台湾アウトバウンド関連イベント参加人数	人	実績	-	-	127			国費	1.0	1.0	1.0				
			達成率			127.00%		人役	6,806	6,766	6,050					
実施期間	始期	終期	事業の概要					人件費				見直し 方向性				
	H26	R3	松山空港国際線(台北線)の早期の運航再開と再開後の安定運航に向け、インバウンド・アウトバウンド両面から効果的な対策を実施する。													

19 韓国観光交流促進事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	2成果低迷している	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり
指標種類1	指標名称1	単位	計画	80	80	運航再開	運航再開	事業費計	85,449	8,603	15,466	0	評価	コロナ禍により国際往来が規制される中、松山-ソウル線は長期運休が続いているものの、韓国のPR会社等を活用したプロモーションの実施により認知度の維持・向上を図るとともに、県民向けのバーチャル旅行体験会の開催等により気運醸成を図っており、国際往来再開後の成果向上が見込まれる。	方向1 方向2 方向3	休止・廃止
成果 +	松山-ソウル線搭乗率	%	実績	75		運休	運休		国費	23,511	4,301	6,347				
			達成率	93.75%				その他								
指標種類2	指標名称2	単位	計画	-	-	4		事業費計	61,938	4,302	9,119					
活動 +	招請ツアーへの参加者数	人	実績	-	-	5			国費	85,449	8,603	10,966				
			達成率			125.00%		その他	18,186	2,677						
指標種類3	指標名称3	単位	計画	-	-	100		事業費計	67,263	5,926	10,966					
活動 +	韓国アウトバウンド関連イベント参加人数	人	実績	-	-	154			国費	0.5	0.5	0.5				
			達成率			154.00%		人役	3,403	3,383	3,025					
実施期間	始期	終期	事業の概要					人件費				見直し 方向性				
	H29	R3	松山空港国際線(ソウル線)の早期の運航再開と再開後の安定運航に向け、インバウンド・アウトバウンド両面から効果的な対策を実施する。													

24 インターネット観光情報発信事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	2一定の成果向上余地あり
指標種類1	指標名称1	単位	計画	1500000	2300000	2300000	2300000	事業費計	1,683	1,683	1,683	1,683	評価 見直し方向性	コロナの影響で一時的にアクセス数が低迷したが、新着情報やイベント情報等の更新、SNS等を活用したサイト流入の促進により、アクセス数は昨年と同程度となる見込み。		
成果 +	70-	観光ホームページ トップページアクセス数	回	実績	2260349	2142172	2269581	国費								
				達成率	150.69%	93.14%	98.68%	その他	1,080	1,200	1,200	1,200				
指標種類2	指標名称2	単位	計画	50	70	70	70	県費	603	483	483	483				
活動 +	70-	ホームページ更新回数	回	実績	64	52	69	事業費計	1,681	1,681	1,681					
				達成率	128.00%	74.29%	98.57%	国費								
指標種類3	指標名称3	単位	計画					その他	1,190	1,390	730					
				実績				県費	491	291	951					
				達成率	-	-	-									
実施期間	始期	終期	事業の概要					人役	0.1	0.1	0.1	方向1				
	H13		魅力あふれる本県の観光資源を県内外に積極的に発信し、愛媛のイメージアップ並びに誘客促進を図るため、県観光ホームページ「いよ観ネット」の運営を行い、幅広いPRを図る。					人件費	681	677	605	方向2				

25 外国クルーズ船受入支援事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R-)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	2成果低迷している	向上余地	2一定の成果向上余地あり
指標種類1	指標名称1	単位	計画	15	15	6	2	事業費計	21,619	2,198	7,070	10,754	評価 見直し方向性	コロナ禍により、令和3年度はすべて寄港中止となったが、商談会への参加による外国船社へのプロモーション実施や、クルーズ受入関係者による受入態勢構築の検討を行ったところであり、国際クルーズ再開後の成果向上が見込まれる。		
成果 +	70-	県内港湾への外国クルーズ船寄港数	回	実績	12	0	0	国費	10,809	1,099	3,375					
				達成率	80.00%	0.00%	0.00%	その他								
指標種類2	指標名称2	単位	計画	2	2	2	2	県費	10,810	1,099	3,695	10,754				
活動 +	70-	外国船社との商談件数	回	実績	3	2	2	事業費計	14,176	1,312	209					
				達成率	150.00%	100.00%	100.00%	国費	6,438	214						
指標種類3	指標名称3	単位	計画					その他								
				実績				県費	7,738	1,098	209					
				達成率	-	-	-									
実施期間	始期	終期	事業の概要					人役	0.7	0.4	0.4	方向1				
	H30	R4	県内に寄港する外国クルーズ船の受入態勢の整備や乗船客の県内周遊の促進を図るなど、クルーズを通じた外国人観光客の受入れを支援する。					人件費	4,765	2,707	2,420	方向2	有効性改善			

26 物産観光情報発信拠点運営事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり
指標種類1	指標名称1	単位	計画	130000	130000	130000	130000	事業費計	8,157	8,231	8,231	8,231	評価 見直し方向性	H24年度に現在店舗へ移転以降、R2年度はコロナの影響により減少したものの、利用客数・県産品販売高ともに増加傾向にある。今後も、観光客の利便性を高め、本県のイメージアップ、県産品のPR及び販路拡大を図るため、観光と物産の一体的な情報発信を継続する。		
成果 +	70-	物産観光情報発信拠点の利用者数	人	実績	185144	109350	160075	国費								
				達成率	142.42%	84.12%	123.13%	その他								
指標種類2	指標名称2	単位	計画	125	125	125	125	県費	8,157	8,231	8,231	8,231				
活動 +	70-	物産展示企業数	企業	実績	125	137	139	事業費計	8,152	8,209	8,099					
				達成率	100.00%	109.60%	111.20%	国費								
指標種類3	指標名称3	単位	計画					その他								
				実績				県費	8,152	8,209	8,099					
				達成率	-	-	-									
実施期間	始期	終期	事業の概要					人役	0.3	0.3	0.3	方向1				
	H24	-	県産品の展示・販売及び本県観光に関する情報提供を行うとともに、県内市町の特産品等についても展示・販売することができる物産観光情報発信拠点「えひめ愛媛の観光物産館」の設置・運営に係る経費を負担する事業である。					人件費	2,042	2,030	1,815	方向2				

7	新型コロナウイルス感染症対策観光客乗入体制充実支援事業費	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	評価対象外の理由	事業費計	0	0	285510	0	事業費計	0	0	285,510
	単年度事業	国費			285510		国費			285,510
	評価対象外その他の理由(記述)	その他					その他			
		県費					県費			
							人役			0.3
							人件費			1,815

8	感染拡大防止宿泊割引事業費	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	評価対象外の理由	事業費計	0	0	38854	0	事業費計	0	0	38,854
	9月補正より後に新たに予算計上	国費			38854		国費			38,854
	評価対象外その他の理由(記述)	その他					その他			
		県費					県費			
							人役			0.3
							人件費			1,815

9	GoToトラベル実施事業費	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	評価対象外の理由	事業費計	0	0	5203000	0	事業費計	0	0	0
	9月補正より後に新たに予算計上	国費			5203000		国費			
	評価対象外その他の理由(記述)	その他					その他			
		県費					県費			
							人役			
							人件費			

10	地域観光再生支援事業費	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	評価対象外の理由	事業費計	0	0	30104	0	事業費計	0	0	0
	9月補正より後に新たに予算計上	国費			30104		国費			
	評価対象外その他の理由(記述)	その他					その他			
		県費					県費			
							人役			
							人件費			

4-3 事務事業管理シート（新規事業）

予算施策名

sb10

広域観光・国際観光の推進

1 総合観光プロモーション推進事業費	コスト (単位：千円)		4年度
	予算	事業費計	54,443
		国費	
		その他	48,359
		県費	6,084

2 歴史文化資源魅力発信強化事業費（東予）	コスト (単位：千円)		4年度
	予算	事業費計	1,250
		国費	
		その他	
		県費	1,250

3 全国商工会議所観光振興大会補助金	コスト (単位：千円)		4年度
	予算	事業費計	3,000
		国費	
		その他	
		県費	3,000

4 観光DX推進事業費	コスト (単位：千円)		4年度
	予算	事業費計	37,488
		国費	
		その他	37,488
		県費	

5 地域資源活用ユニークベニュー推進事業費	コスト (単位：千円)		4年度
	予算	事業費計	9,767
		国費	
		その他	
		県費	9,767

6 国際線インバウンド需要回復促進事業費	コスト (単位：千円)		4年度
	予算	事業費計	81,575
		国費	77,025
		その他	
		県費	4,550

7 欧米豪インバウンド新市場開拓事業費	コスト (単位：千円)		4年度
	予算	事業費計	39,620
		国費	39,620
		その他	
		県費	